

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 190-8517

住 所 東京都立川市栄町6-1-1

氏 名 株式会社 いなげや

代表取締役社長

印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 いなげや		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市多摩区中野島2325-1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	スーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,042	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2019 年度 ~ 2021 年度 (報告年度 2021 年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	全社で省エネ（特に電力）への取り組み強化。今後も継続。

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1、2、4号該当者等)

(1) 計画期間における温室効果ガスの排出の量等の状況

ア 温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	
排出量 (t-CO2)	(実) 5,187	(実) 5,276	(実) 6,092	(実) 5,562	(実) 5,031
	(調) 5,047	(調) 5,131	(調) 5,950	(調) 5,527	(調) 4,896
削減率		(実) -1.7%	(実) -17.4%	(実) -7.2%	(実) 3.0%
		(調) -1.7%	(調) -17.9%	(調) -9.5%	(調) 3.0%

イ 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値 (任意記載)

原単位等の活動量	延べ床面積*営業日数				原単位等の単位	t-CO2/日・坪
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標とした値	
	(2018年度)	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)		
排出量原単位等の値	1.741	1.463	1.924	1.757	1.689	
活動量の値	2979	3606	3165.784652	3165.3	-	
排出量原単位等の削減率		16.0%	-10.5%	-0.9%	3.0%	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況等についての説明

第1年度	市内9店舗の実排出量は削減出来ている。新店(川崎京町店)出店分が上乗せになった。削減目標の値、「原単位」では順調に推移	
第2年度	2020年度5月度より取引電力会社を変更したことにより係数が上がり、原単位数値に影響	
第3年度	目標には未達だが前年対比では削減	
計画期間における排出量増減等の評価 (第3年度の報告時に記載)		年度による凹凸があるが、数年間の推移をみる限りでは総じて削減傾向。2020年度は、コロナ感染防止策として換気の強化、前年1店舗増等の要因で特に電力使用量増となった。
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)		夏冬の気温激化の中、特に店舗では相当に努力して電力削減に努めている。今後も節電を継続していくが、店舗をトータルに捉え商品の品質に悪影響を及ぼすような温度設定・調整にならないことが前提。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標) (任意記載)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況

(1) 措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない装置を実施した場合は、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

<p>計 画</p>	<p>①電気設備について、管理基準を基に省エネ対策を図る ・空調設備…温度設定(夏季・冬季)、フィルター清掃(定期) ・照明設備…反射板清掃(定期)、点灯時間設定変更、使わない場所・時間消灯、セカンドリプレイス推進 ・冷蔵冷凍設備…ハニカム清掃(定期)、温度管理、開店10分前ナイトカバー解除、冷ケースのロードライン遵守、フィルター清掃(定期)</p> <p>②経年劣化設備の入替えを推進 ・消費電力構成比の高い冷蔵・冷凍ケースの新規入替え実施(改装店舗中心に)</p>
<p>第1年度</p>	<p>①冷蔵設備：運転の効率化を図れるよう、各店冷設の運転状況の把握を前年度に引き続き継続・実施している。 ②空調調和設備：外気導入も含め、外部環境に応じたエネルギー効率の向上を検討していく。また、設備の経年劣化を鑑み、順次省エネタイプの機器への入替等を実施していくことに努める。(レジ袋有料化による差益を投資する事を検討中) ③照明設備：定期的な清掃・ランプ交換等による保守点検を実施し、照度基準管理、減光・消灯管理ルールに基づいて、各店にて実施出来るように努める。また、経年劣化を鑑み、順次省エネタイプ機器への入替等を実施していくことに努めていく。(入れ替え済、今後設置経年を鑑み再入れ換えを検討する)</p>
<p>第2年度</p>	<p>①電気設備 管理基準を基に既存設備の省エネ対策を図る ・空調設備…温度設定(夏季・冬季)・稼働時間設定変更、フィルター清掃(定期) ・照明設備…反射板清掃(定期)、使わない場所・時間の消灯LED化及びセカンドリプレイス実施(全店中3店舗) ・冷蔵冷凍設備…ハニカム清掃(定期)、ナイトカバー開店10分前解除、冷ケースのロードライン遵守 ②改装に伴い経年劣化のみられる設備について優先的に入替え実施</p>
<p>第3年度</p>	<p>①電気設備 管理基準を基に既存設備の一層の省エネ対策を図る ・空調設備…温度基準・設定変更(夏季・冬季)・飲料冷ケース規準温度・稼働時間設定変更、フィルター清掃(定期) ・照明設備…反射板清掃(定期)、使わない場所・時間の消灯LED化及びセカンドリプレイス実施(全店中3店舗) ・冷蔵冷凍設備…ハニカム清掃(定期)、ナイトカバー開店10分前解除、冷ケースのロードライン遵守 ②改装に伴い経年劣化のみられる設備について優先的に入替え実施 ③中長期省エネ目標値設定のための現状の正確な把握(システム導入)</p>
<p>計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)</p>	<p>2021年度は全社計でCO2排出量削減が実現できた。主として改装店舗の冷ケース入替えが最も削減効果大きい。より効果的と思われる店舗を優先して改装計画を組んでいるため、特定の地域に限定は出来ないが、神奈川地区店舗も含め今後も順次取り組む方針。また燃料高騰につき一層全社を挙げての省エネに取り組む。</p>

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 前年度における再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(追加検討を実施した場合は「○」、追加の検討を実施していない場合は「×」を記載してください。また、追加検討を実施した場合はその結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	追加検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他()	×	
その他()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 前年度に実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入状況

(追加導入がある場合は「○」、追加導入がない場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	追加導入の有無	設備等の種類	追加導入の有無
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他()	×
EV、PHV、FCV	×	その他()	×

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	未定の為、公表する事項はありません
第1年度	計画なし
第2年度	計画なし
第3年度	記載事項無し

5 その他、地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

(各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に(追加実施)と記載してください。)

計 画	未定の為、公表する事項はありません
第1年度	計画なし
第2年度	計画なし
第3年度	記載事項無し

6 基準年度からのエネルギー起源CO₂の排出の量等の推移（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
エネルギー起源CO ₂ 排出量	5,187 t-CO ₂	5,276 t-CO ₂	6,092 t-CO ₂	5,562 t-CO ₂
原油換算エネルギー使用量	2,803 KL	2,893 KL	3,066 KL	3,042 KL
事業所の数	9	10	10	10

(2) 事業所等単位

ア 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度

イ 基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量 (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度